

令和4年度 シラバス（外国語）

学番 28 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科	科目	単位数	教科書名	副教材名等
外国語	英語コミュニケーション I	3	MY WAY English Communication I (三省堂)	<ul style="list-style-type: none"> ・ MY WAY English communication I Workbook Advanced (三省堂) ・ Hyper Listening Introductory (桐原書店) ・ Data Base 3000 基本英単語・熟語(Ⅱ) ・ Zoom English Grammar 23 Lessons (第一学習社) ・ 夢をかなえる英文法 ユメブン0 中学校総復習～高校入門レベル (アルク)

1 学習目標等

到達目標、 具体的な取り組み 及び留意点	中学校での既習事項を復習しながら、英語における4技能5領域（リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング(やりとり・発表)）を伸ばし、英語に親しみ、積極的にコミュニケーションをはかろうとする態度を身につける。また、教科書を通して見識を広げ、読解力や理解力を深める。学びの振り返りや目標に対する自己評価等を通じて、粘り強く自律的に英語学習を進める態度を養う。
授業形態及び 履修条件等	1年次生必履修科目 習熟度別学習

2 学習計画

	月	指導単元	指導内容	時間 (h)	評価および評価方法 評価のポイント
第一回 考查	4	Lesson 1 Proverbs Around the World	現在形・過去形／進行形／SVO(O=that節)	10	考查の素点・授業の取組・提出物 L30 R30 S30 W20
	5	Lesson 2 Iwago Mitsuaki	助動詞／受け身／助動詞のついた受け身	12	
第二回 考查	6	Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space	動名詞 to不定詞の名詞的用法・副詞的用法／to不定詞の形容詞的用法	13	
	7	Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh	現在完了形 S+V+O(=that節) 過去完了形	12	
第三回 考查	9	Lesson 5 Endangered Languages	関係代名詞(主格、目的格、what) It is ... to不定詞	18	

	10	Lesson 6 A Wheelchair Traveler	現在分詞の形容詞的用法、過去分詞の形容詞的用法／分詞構文／It is ... that ~	14	
第四回 考査	11	Lesson 7 The Fugees	関係副詞 where / when / why / 比較級最上級	14	
	12	Lesson 8 Avatar Robots	条件を表す if 節／仮定法過去／I wish ~／as if ~	16	
第五回 考査	1	Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination	SVO ₁ O ₂ (O ₂ =how to~) SVO+to 不定詞 SVOC(C=動詞の原形) SVOC(C=現在分詞)	16	
	2			16	
	3	Lessons 10 SDGs	SDGs に関するプレゼンテーション		

計 140 時間 (50 分授業)

3 観点別目標と評価方法

評価は次の観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に英語を使って、話を聞こうとしたり、読もうとしたり、伝え合おうとしたり、話そうとしたりしている。
<p>以上の観点をふまえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への出欠席 ・ 発問に対する回答 ・ ノート、課題等の提出 ・ パフォーマンステスト ・ 定期考査 ・ 授業への取り組み状況 ・ 単語テスト <p>等から学年末成績を総合的に評価する。</p>		

4 担当者からの一言

この科目は中学校で勉強した学習内容を復習しながら、高校で新たに学ぶ学習内容をしっかりと身につけることを主体としています。また、この科目は「英語コミュニケーションⅡ」や「論理・表現Ⅰ」を学ぶための基礎になります。毎週の単語テストや授業時の活動を通じて英語を使う力を養います。一年間この科目へ真剣に取り組み、進路希望実現のためにも英語の基礎を固めてください。